

大同、オムロンらが順当勝ち

～第33回日本ハンドボールリーグ第2週～

9月13～15日に埼玉などで行われた日本リーグ第2週は、男子・大同特殊鋼、大崎電気、湧永製薬などが順当に勝利を取める中、Hondaが昨年最下位の豊田合成に敗れる波乱があった。

第1週でトヨタ車体の挑戦を退けた大同は、車体と同じくプレーオフ出場を狙うトヨタ紡織九州と対戦。紡織の高いディフェンスを序盤から攻略し、武田、末松、白らの得点で15分10-2と大量リードを奪い、試合の流れを完全に掌握する。

紡織は呉を軸に立て直しを図るが、大同GK東のファインセーブに阻まれて盛り返せない。結局、後半も堅守からの速攻で加点し続けた大同が38-18で紡織を下した。この試合で紡織・呉相民が通算500得点を達成した。

ホーム埼玉に琉球コラソンを迎えた大崎は、動きが固い琉球を試合開始から攻め立て、太田、前田、内田が速攻から次々得点。後半に入っても終始ペースを握り続けて大勝した。琉球は攻守ともに持ち味を出せず。オフェンスは田場、村山、水野裕紀らの個人技に頼るばかりとなり、ディフェンスも本来の足を使った動きができないままで、日本リーグ上位チームの洗礼を浴びてしまった。

湧永-北陸電力の一戦は、前半8分6-1としたホームの湧永に対し、北電はGK丸山の好守を足がかりに粘り強く戦い、前半を11-13と接戦に持ち込んで折り返す。しかし、後半8分過ぎから北電が連続出場者を出す間に湧永が東長濱、福田、古家の得点で抜け出すと、その後はディフェンスが機能して北電の反撃を許さず、32-18として初勝利をあげた。

女子は開幕戦を白星で飾ったオムロンがHC名古屋を相手に、前半から城内、佐久川の両サイドの速攻や藤井のミドル、カットインなどで圧倒。後半に入っても流れは変わらず、名古屋の反撃を佐藤のミドル、高橋瑛のステップシュートなど単発に抑え、大勝して2連勝とした。

ホーム開幕戦の広島メイプルレッズは、初戦で昨年2位のソニーを破って勢いに乗る北國銀行と対戦。前半、両チームGKの堅守を中心に、北國・野路良、横嶋、広島・植垣、李らが点を取り合い12-11と北國の1点リードで後半へ。しかし、後半に入ると北國が野路里、若松の連取を皮切りに広島ディフェンスを攻略して12分21-13と一気に突き放しにかかる。苦しい広島は中盤以降、ディフェンス陣が踏ん張り、植垣、坂口、伊藤の得点で必死に追いつがるが、北國・仲宗根に立て続けにステップシュートを決められて再び点差を広げられ万事休す。

北國は開幕2連勝で2位、広島は2連敗で5位と、プレーオフ出場を争う両チームだが、対照的な結果となった(2ページに続く)。



順当に白星を飾った④大崎電気・太田⑤オムロン・藤間

第3週の日程

9月21日(日)	石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00～(女)	北國銀行 × 三重バイオレットアイリス
	奈良・生駒市市民体育館(近鉄奈良線生駒駅徒歩15分)	13:00～(女)	ソニーセミコンダクタ九州 × オムロン
	香川・高松市香川総合体育館(JR高松駅塩江方面行きバス30分「浅野」バス停)	15:00～(男)	大崎電気 × トヨタ自動車
		12:00～(女)	広島メイプルレッズ × HC名古屋
	徳島・徳島市立体育館(JR高德線徳島駅徒歩5分)	14:00～(男)	豊田合成 × 湧永製薬
		11:00～(男)	大同特殊鋼 × 北陸電力
佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	12:40～(男)	Honda × トヨタ車体	
		14:00～(男)	トヨタ紡織九州 × 琉球コラソン



Honda から嬉しい白星を奪った豊田合成・中村

豊田合成がHondaから初勝利もぎ取る

そのほか愛知、岐阜での3試合も見応え充分。その中で特筆されるのは、豊田合成がHondaに挑んだ一戦。前半は豊田合成が期待の左腕・今村、Hondaが4年目のエース候補・竹田と若手が軸となって得点を重ねあう展開となり、18-16と豊田合成が2点リードを奪って折り返した。後半は双方が守りを固める中、豊田合成は12分21-20と1点リードの場面から、1分足らずの間に畠中、今村、中村で一気の3連取。Hondaも鶴見、柳本らで懸命に追いかけて、残り4分には27-27と試合を振り出しに戻した。ラストスパートを図りたかったHondaに対し、豊田合成はG K藤堂の好セーブでHondaの猛攻をしのぐとともに、残り2分25秒、大橋が勝ち越しゴールを奪い、今シーズン、そして対Honda戦の初勝利をもぎ取った。

同じく愛知でのトヨタ車体-トヨタ自動車戦は、序盤、開幕戦白星発進のトヨタ自動車が光増、山口を軸にトヨタ車体を苦しめたものの、G K木下の好守などでトヨタ車体が守りでリズムをつかむと点差が開き、後半も点差をさらにひろげたトヨタ車体が、今シーズン初勝利を飾った。

岐阜での三重バイオレットアイリス-ソニーセミコンダクタ九州の対戦は、前半なかば過ぎまで互角の展開から、G K飛田の堅守と郭の巧打などでソニーが力強く抜け出し、前半を16-8と大きくリード。三重は後半、伊藤、伏見らで点差を詰めるのが精いっぱいだった。ソニーは今シーズン初勝利。また、スペインリーグから復帰した金城が、通算200得点をマークした。

次週第3週は、9月21日に石川、奈良、徳島などで男子5試合、女子3試合が組まれている。奈良で予定されている前回のプレーオフ決勝を争った女子・オムロンとソニーセミコンダクタ九州の激突をはじめ、引き続き熱い戦いとなりそうだ。

<p>◆ 9月13日(土) 男子 埼玉・和光市総合体育館</p> <p>大崎電気 49 (25-10) 22 琉球 1勝1分0敗 24-12 コラソン 0勝0分2敗</p> <p><0/1> K 浦和 久高 1/1 0/4 小澤 村山 3/11 5/5 6/8 前田 棚原 1/3 1/2 中川 岡田 3/10 2/2 永島 積 0/0 9/11 太田 名嘉 0/0 1/1 酒井 池田 0/0 1/1 6/7 岩永 志慶真 1/3 3/4 東俊介 内田 K <0/4> K 石原 水野矢 2/2 3/4 秋山 内山 1/5 8/8 内田 内場 2/9 3/4 猪妻 石田 K <0/1> 6/7 宮崎 水野紀 3/6</p> <p>1/1 48/62 4(FPP)3 17/50 5/5 審判(黒木秀・黒木龍) 観客 1010人</p>	<p>◆ 9月13日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター</p> <p>北國銀行 29 (12-11) 21 広島マイブル 2勝0分0敗 17-10 レッズ 0勝0分2敗</p> <p><0/1> K 下地 堂面 K <2/5> 1/3 2/8 上町 土屋 3/4 1/6 宮前 樹山 0/0 0/0 川井 大前 0/0 2/2 小野澤 植垣 5/10 0/1 8/10 横嶋 李 4/11 2/2 4/5 野路良 菅野 1/3 0/5 武井 坪井 0/0 <1/2> K 田代 伊藤 3/6 2/2 6/7 仲宗根 坂口 2/2 1/3 野路根 亟々 K K 大澤 安齋 0/1 0/0 八十島 石山 1/1 2/4 若松 新城 0/4</p> <p>3/5 26/50 9(FPP)6 19/42 2/3 審判(藤井・大熨) 観客 345人</p>	<p>◆ 9月13日(土) 男子 佐賀・神埼中央公園体育館</p> <p>大同特殊鋼 38 (18-9) 18 トヨタ紡織九州 2勝0分0敗 20-9 九州 1勝0分1敗</p> <p>1/1 松林 松野 K <0/1> 2/2 5/8 末松 中島 3/5 2/4 富田 西端 0/0 1/1 1/3 地引 村上秀 0/3 6/7 武田 村上直 2/8 2/3 岸川 呉相民 3/8 <0/1> K 高木 鶴田 0/0 3/6 李才佑 海道 2/4 4/5 千々波 阪 1/2 3/4 山城 谷川 K <0/2> <0/1> K 東 鈴木 1/1 4/5 白元喆 藤山 1/5 2/2 2/3 松永 船木 1/2 2/3 渡久川 泉原 2/5</p> <p>3/3 35/52 7(FPP)5 16/43 2/2 審判(家永・福島) 観客 590人</p>
---	--	--



トヨタ紡織九州

多くの子供たちにハンドボールの楽しさを

トヨタ紡織九州ハンドボールレッドトルネードがある佐賀県神埼市では、放課後の小学校を開放し、スポーツや文化活動を通して心豊かでたくましい子供を育てることを目的とした放課後子供教室『ドリームパーク』が平成17年度から開催され、レッドトルネードの選手も開催当時からハンドボールの講師として参加しています。

以前は「ハンドボールを知っていますか?」と聞くと、わからないという子供が多かったのですが、ここ最近ハンドボールがメディアなどで多く取り上げられたこともあり、ハンドボールに興味関心をもってくれる子供が増え、参加者も20~30名程度であったのが、多いときは90名近くの参加者が集まり、担当者の方や講師として行った私たちも驚きました。

短い時間のため、ハンドボールを知ってもらい・楽しんでもらうというのを第1に考え、ボールを使った競争やシュート・試合を中心に行っています。

放課後の1時間程度という短さと、ハンドボールをしたことのない子供たちにハンドボールを教えることの難しさに、初めは戸惑いを見せていた私たちでしたが、回数を重ねるごとに上手に時間を使うこ

と、ハンドボールの楽しさを伝えることも子供たちとのコミュニケーションをとることにより、上達しているように感じます。子供たちが競争やシュート練習・試合に一生懸命取り組む姿に私たちもパワーをもらっています。

終了後に感想を聞くと「またやりたい!!」「ハンドボールが好きになった」「レッドトルネードを応援に行く」といった声がたくさん聞かれます。そして、ドリームパークでハンドボールをしたのをきっかけに、神埼の小学生チーム『神埼ジュニアハンドボールクラブ』に入って本格的にハンドボールをはじめた子供もいます。

これから先、もっとたくさん学校のなどへ足を運び、ハンドボールの楽しさを伝え、佐賀県そして神埼市のハンドボール人口が増えればと思います。

また、レッドトルネードの選手のようになりたいと頑張っている子供たち、応援して下さっている方々と感動と喜びを分かち合えるよう、日本リーグでは全試合全力で戦い、プレーオフ出場・優勝を目指します!!



F-kuroda/Team47



初勝利をマークしたソニーセミコンダクタ九州・郭

◆ 9月14日(日) 男子
愛知・ウィングアリーナ刈谷

豊田合成	28 (18-16)	27	Honda
1勝0分1敗	(10-11)		0勝0分2敗
K 大立	1/1	中谷	1/1
0/0 原	7/11	見	7/11
4/8 大橋	3/8	本	3/8
3/4 桶谷	0/0	河瀬	0/0
0/0 加藤	7/12	竹田	2/2
0/0 大植	4/6	横地	4/6
2/6 渡久山	0/0	伊藤	0/0
6/15 今村	0/0	青山	0/0
5/6 中村	0/0	瀬山	0/0
0/0 芳仲	3/6	野嶋	3/6
<0/2> K 藤堂	0/0	高木	0/0
2/5 米本	K	兼浦	K
6/12 島中	K	四方	K
0/0 田形			

0/0 28/56 7(FPP)5 25/44 2/2
審判(佐々木・高原) 観客 411人

◆ 9月14日(日) 男子
愛知・ウィングアリーナ刈谷

トヨタ車体	37 (19-9)	21	トヨタ自動車
1勝0分1敗	(18-12)		1勝0分1敗
K 木下	1/3	坂口	1/3
1/2 田中	0/2	岩崎	0/2
0/2 佐々木	2/4	栗崎	2/4
8/11 高智	0/0	小林	0/0
2/4 安藤	2/13	和田	2/13
2/4 藤田	2/2	倉田	2/2
3/3 北出	<0/1>	佐藤	<0/1>
<1/1> K 田平	0/0	澤田	0/0
0/1 小沢	0/0	成田	0/0
6/9 鶴谷	0/0	出會	0/0
1/1 3/3 香川	K	稲本	K
4/6 崎前	8/16	光増	8/16
3/5 銘苅	0/0	福田	0/0
4/6 門山	0/1	山口	6/16 0/1

1/1 36/56 6(FPP)5 21/56 0/1
審判(青木・根来) 観客 875人

◆ 9月14日(日) 男子
広島・湧永満之記念体育館

湧永製薬	32 (13-11)	18	北陸電力
1勝1分0敗	(19-7)		1勝0分1敗
K 志水	5/7	西田	K
1/1 坂本	1/8	高橋	5/7
0/0 濱本	3/4	神田	1/8
2/5 山中	3/7	落合	3/4
1/3 福田	0/2	桜井	3/7
3/5 吉田	3/5 0/1	前田	0/2
3/3 名嘉	0/0	杉山	3/5 0/1
5/8 東大	0/0	谷	0/0
<1/1> K 坪根	0/0	表	0/0
5/8 新	2/7 0/1	山原	2/7 0/1
2/4 今井	0/0	亀田	0/0
<1/1> K 松村	K <0/2>	丸山	K <0/2>
4/7 古家	1/1	石塚	1/1
4/4 2/8 東長濱	K <0/2>	有江	K <0/2>

4/4 28/52 4(FPP)12 18/41 0/2
審判(佐路・佐藤) 観客 523人

◆ 9月14日(日) 女子
熊本・熊本県立総合体育館

オムロン	36 (21-8)	12	HC名古屋
2勝0分0敗	(15-4)		0勝0分2敗
K 勝田	<1/2>	近藤	K <1/2>
6/8 城内	0/2	池田	0/2
0/1 安心院	4/13	佐藤	4/13
0/1 巻	4/9	高橋瑛	4/9
3/3 西本	0/2	鈴木	0/2
1/3 8/12 藤井	1/9	菅谷	1/9
5/5 佐久川	1/1	高橋知	1/1
2/3 坂元	1/3	高橋玲	1/3
5/8 久野	K	家城	K
1/1 洪廷昊	1/6	秋山	1/6
K 藤間	<1/1>	徳永	K <1/1>
1/1 高田			
1/1 市村			
3/10 東濱			

1/3 35/54 5(FPP)6 12/45 0/0
審判(金子・児玉) 観客 1013人

◆ 9月15日(月) 女子
岐阜・岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム

ソニーセミコンダクタ九州	26 (16-8)	21	三重ハートレック
1勝0分1敗	(10-13)		1勝0分1敗
<0/1> K 中島	<1/2>	浅井	K <1/2>
10/13 郭惠	0/0	横川	0/0
0/0 長野	2/6	桂	2/6
2/4 工藤	3/9	宮下	3/9
1/3 龜山	0/0	竹上	0/0
5/7 高栖	0/0	谷口	0/0
<0/2> K 飛田	0/0	北村	0/0
0/1 1/2 樋口	1/6 3/3	伏見	1/6 3/3
0/1 佐師	3/5	橋本	3/5
1/2 飯田	0/0	野中	0/0
1/1 1/1 東	2/4	星野	2/4
0/0 和田	7/17	伊藤	7/17
1/5 川口	<0/1>	森田	K <0/1>
1/1 2/8 金城			

2/3 24/46 6(FPP)6 18/47 3/3
審判(池淵・檜崎) 観客 450人



オムロン

応援団も総力戦を展開!

オムロン応援団は、熊本、東京、京都の3ヶ所で結成し、日本各地での試合に備えております。特に最大規模の熊本は、オムロンリレーアンドデバイス社員50名程で組織し、選手も社内にいることから、選手と応援団の距離を縮め、密な連携と迅速な対応を可能としています。

昨年度を振り返ると、31年ぶりに4冠達成し、歴史的記録に残る年となりました。この様な素晴らしい瞬間に、応援団として参画できたことを嬉しく思い、日本一の(チームの)応援団となれたことの誇りを持つことができました。

私たち応援団の原動力は、普段の生活では到底味わうことのできない感動を与えてくれる選手たち、また私たちと一緒にあって一生懸命応援し、感動を分かち合うことのできる観客の皆様のご存在です。

応援の際に意識しているのは、選手と観客が一体となれるよ

う、次々と攻守の展開が変わる試合に遅れることなく流れにあった応援、選手を奮い立たせる応援、そして、初めて応援に来られた方にも自然と応援に加われる雰囲気づくりを心掛けています。

直近では、オリンピック再予選や、大崎電気・宮崎大輔選手の活躍など、ハンドボール競技がメジャースポーツとなるチャンスが多くあります。応援団としても、認知度UP、来場数UPを果たすため、楽しく、気軽に参加していただけるような応援を心掛けて参ります。ハンドボールをメジャースポーツにすべく、応援団も総力戦を展開していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。(オムロン応援団長・森 真吾)



男女個人賞レース 第2週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	17点	(2試合)	1 李 キョンミン (メイプルレッズ)	14点	(2試合)
2 光増 由矢 (トヨタ自動車)	16点	(2試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	14点	(2試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	16点	(2試合)	3 横嶋 かおる (北國銀行)	13点	(2試合)
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	14点	(2試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	12点	(2試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	14点	(2試合)	4 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	12点	(2試合)
6 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	13点	(2試合)	6 城内 真紀 (オムロン)	11点	(2試合)
7 内田 雄士 (大崎電気)	12点	(2試合)	6 上町 史織 (北國銀行)	11点	(2試合)
7 大橋 隆之 (豊田合成)	12点	(2試合)	8 藤井 紫緒 (オムロン)	10点	(2試合)
7 東 慶一 (湧永製薬)	12点	(2試合)	8 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	10点	(2試合)
7 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	12点	(2試合)	10 仲宗根 彩 (北國銀行)	9点	(2試合)
7 鶴見 拓 (Honda)	12点	(2試合)	10 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	9点	(2試合)
12 杉山 卓也 (北陸電力)	11点	(2試合)	12 工藤 麻衣 (ソニー)	8点	(2試合)
12 太田 芳文 (大崎電気)	11点	(2試合)	12 東濱 裕子 (オムロン)	8点	(2試合)
12 今村 彰伸 (豊田合成)	11点	(2試合)	12 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	8点	(2試合)
15 中村 晃己 (豊田合成)	10点	(2試合)	15 洪 廷昊 (オムロン)	7点	(2試合)
15 柳本 義文 (Honda)	10点	(2試合)	15 秋山 美寿々 (HC名古屋)	7点	(2試合)
15 高智 海吏 (トヨタ車体)	10点	(2試合)			
15 東長濱 秀作 (湧永製薬)	10点	(2試合)			

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	17点	(2試合)	1 横嶋 かおる (北國銀行)	13点	(2試合)
2 光増 由矢 (トヨタ自動車)	16点	(2試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	13点	(2試合)
3 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	12点	(2試合)	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	12点	(2試合)
3 鶴見 拓 (Honda)	12点	(2試合)	3 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	12点	(2試合)
3 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	12点	(2試合)	5 城内 真紀 (オムロン)	11点	(2試合)
6 内田 雄士 (大崎電気)	11点	(2試合)	6 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	10点	(2試合)
6 杉山 卓也 (北陸電力)	11点	(2試合)	6 李 キョンミン (メイプルレッズ)	10点	(2試合)
6 太田 芳文 (大崎電気)	11点	(2試合)	8 藤井 紫緒 (オムロン)	9点	(2試合)
6 竹田 寛明 (Honda)	11点	(2試合)	9 工藤 麻衣 (ソニー)	8点	(2試合)
6 今村 彰伸 (豊田合成)	11点	(2試合)	9 東濱 裕子 (オムロン)	8点	(2試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 内田 雄士 (大崎電気)	11点/ 11射 1.000	1 城内 真紀 (オムロン)	11点/ 13射 0.846
2 杉山 卓也 (北陸電力)	11点/ 15射 0.733	2 横嶋 かおる (北國銀行)	13点/ 16射 0.813
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	17点/ 26射 0.654	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	12点/ 15射 0.800
4 太田 芳文 (大崎電気)	11点/ 18射 0.611	4 工藤 麻衣 (ソニー)	8点/ 11射 0.727
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	12点/ 20射 0.600	5 藤井 紫緒 (オムロン)	9点/ 16射 0.563

7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	6点	(2試合)	1 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	7点	(2試合)
2 東長濱 秀作 (湧永製薬)	5点	(2試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	6点	(2試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	4点	(2試合)	3 吉田 祥子 (オムロン)	4点	(1試合)
3 東 慶一 (湧永製薬)	4点	(2試合)	3 李 キョンミン (メイプルレッズ)	4点	(2試合)
5 竹田 寛明 (Honda)	3点	(2試合)	5 樋口 真央 (ソニー)	3点	(2試合)
5 渡久山 慶一 (豊田合成)	3点	(2試合)			
5 香川 将之 (トヨタ車体)	3点	(2試合)			

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKを対象)

1 高木 尚 (大同特殊鋼)	4本/ 5射 0.800	1 徳永 悦代 (HC名古屋)	2本/ 3射 0.667
2 坪根 敏宏 (湧永製薬)	1本/ 2射 0.500	2 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	1本/ 2射 0.500
2 松村 昌幸 (湧永製薬)	1本/ 2射 0.500	2 森田 由美 (バイオレットアイリス)	1本/ 2射 0.500
4 東 佑三 (大崎電気)	2本/ 6射 0.333	4 田代 ひろみ (北國銀行)	2本/ 5射 0.400
4 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	1本/ 3射 0.333	5 近藤 澄江 (HC名古屋)	2本/ 6射 0.333
4 藤堂 聖二 (豊田合成)	1本/ 3射 0.333		
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	1本/ 3射 0.333		

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第2週終了 9月15日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	北陸電力	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車	Honda	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼				32 ○ 20		38 ○ 18					2	2	0	0	4	70	38	32
2	大崎電気			27 △ 27							49 ○ 22	2	1	1	0	3	76	49	27
3	湧永製薬		27 △ 27			32 ○ 18						2	1	1	0	3	59	45	14
4	トヨタ車体	20 ● 32							37 ○ 21			2	1	0	1	2	57	53	4
5	北陸電力			18 ● 32				29 ○ 27				2	1	0	1	2	47	59	-12
6	トヨタ紡織九州	18 ● 38								28 ○ 25		2	1	0	1	2	46	63	-17
7	豊田合成					27 ● 29				28 ○ 27		2	1	0	1	2	55	56	-1
8	トヨタ自動車				21 ● 37						35 ○ 32	2	1	0	1	2	56	69	-13
9	H o n d a						25 ● 28	27 ● 28				2	0	0	2	0	52	56	-4
10	琉球コラソン		22 ● 49						32 ● 35			2	0	0	2	0	54	84	-30

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン					31 ○ 22	36 ○ 12	2	2	0	0	4	67	34	33
2	北國銀行			23 ○ 21		29 ○ 21		2	2	0	0	4	52	42	10
3	ソニーセミコンダクタ九州		21 ● 23		26 ○ 21			2	1	0	1	2	47	44	3
4	三重バイオレットアイリス			21 ● 26			26 ○ 19	2	1	0	1	2	47	45	2
5	広島メイプルレッズ	22 ● 31	21 ● 29					2	0	0	2	0	43	60	-17
6	H C 名 古 屋	12 ● 36			19 ● 26			2	0	0	2	0	31	62	-31

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。